

「浙江大学スプリングスクール参加報告書」

京都大学経済学部2年 角野 友哉

浙江大学に二週間留学しましたが、生活がとても充実しておりとても短く感じました。授業を受けたり観光したり他の留学生と話したり様々なことがありましたが、この留学に関して報告していきます。

まずは、プログラム内容についてです。このプログラムは二週間浙江大学で中国語の学習をして中国語の語学力を向上させる、また中国という異文化に触れるというもので、平日は大学のクラスに入って他の国から来た留学生とともに一日二つ講義を受け、講義が終われば自由行動で、クラスメートと話したり遊んだり、京都大学のメンバーで出かけたり、講義の予習や復習をしたりします。週末になると蘇州や上海など少し離れた場所に行くこともできます。

次に、学習成果についてです。語学能力について言うと、私は大学に入学してから二年間中国語を勉強していましたが、話す能力がなかったためその力を少しでも身に着けようと考えていました。浙江大学での講義では先生は日本語は分からず、中国語時々英語で話すため、またクラスメートとのコミュニケーションもその言語を使うため、話す能力は向上しました語学力全般が本当に身につきます。また語学力だけでなく今まで自分になかったものも身に着けることができたと感じます。それは積極性です。元々私は人見知りの性格でしたが、他の国の人と関わる機会はめってにないと思い積極的に話し、コミュニケーション能力が少しは向上したのではないかと思います。また留学するということが自体も積極性かと考えます。

そして次に経験についてです。そもそも私は今まで海外に行ったことがなく、日本語が通じない環境で過ごしたのは初めてでした。クラスメートや先生、寮の人などに対しては中国語あるいは英語を使わざるをえず、外国語でコミュニケーションをとる良い経験でした。私のクラスメートがとても友好的で授業前後に気軽に話せる人ばかりでとても恵まれた環境だったと思います。また、他国からの留学生との中で日本について話していると、まず初めに話題になるのがアニメ・漫画で、外国の人から見た日本の印象についても知ることができました。

在中国，我做了各种各样的经验。我初次交留学生的朋友，跟他们寻求沟通了。然后，我可以提高了自己的汉语水平。马上我是三年级，但是我还没决定毕业后的去向，但是我想就职于能用上汉语的工作。我想再一遍去中国留学。我感谢能去中国的这次机会。